

令和4年度 自己評価公表シート

学校法人 東松山学園
松山幼稚園

1.教育方針

心身共に健全な幼児の成長発達の為に、適切な環境のもと、集団生活を通して幼児の自主性を育み、豊かな人間性を養うべく、この時期に必要な諸能力を開発を助長し、時代の変化に対応できる未来の子ども達を育てる幼児教育を推進する。

2.教育目標

丈夫なからだで元気よく、豊かな心でたくましく、みんなと仲良く遊べる子

3.評価項目の達成及び取組状況

評価項目	取組状況
I. 保育の計画性	・昨年度の経験を踏まえ、保育者同士の情報を共有し、保育の質の向上に努めた。
II. 保育への在り方、 幼児への対応	・一人ひとりの子ども達の想いを受け止め丁寧に関わることを心掛けた。
III. 保育者としての 資質や能力・良質・ 適正	・幼児や保護者との対応には、公平さを欠かさないように心掛けた。 ・チームワークがとれ、行事なども保育者が楽しんで取り組んでいることの相乗効果で、子ども達にも良い影響が与えられた。
V. 地域や自然社会 との関り	・コロナ禍だったが、園外保育など積極的に行い地域との関りが持てた。

4.学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

コロナ禍の中、より一層保護者との連携をとるよう心がけながら、質の高い教育を実践できるよう意識し取組んできた。また、幼児一人ひとりと向き合い大切に関わりながら保育を実践することができた。

今後、教職員全体での話し合いの場をつくるよう心掛け、共有しあいながら、気付きを増やし働きかけができるよう課題も明確になった。

5.これから改善したいこと

評価項目	具体的な取組状況
IV. 保育者への対応・守秘義務	・保護者対応について家庭での養育方針など、どこまで踏み込んで良いのか判断しかねるが、家庭との連携をできるだけとれるようにしていきたい。 ・自園のシステムについて理解し難い部分が見受けられる為、皆で周知していきたい。
VI 保育の専門性に関する研修・研究への意欲・態度	・保育の在り方や悩みについて話し合っているが、各自が保育の振り返りはしているものの、放課後に他の仕事がある為、教職員全員で話し合いの時間が十分にとれなかった。 今後は時間をつくり、話し合いをしていきたい。

6.学校関係者の評価

減少しているとはいえ、今の尚続くコロナ禍の保育ですが、色々と工夫されながら活動され、先生方の質の高い保育に尽力されている姿に感銘します。より一層、研修や研究に費やす時間を取り、自ら学びのチャンスを見つけ、つくってほしいとのアドバイスをいただきました。

令和4年度教育に関するアンケート(学校評価)の結果について

過日は、学校評価のアンケートに91名の方にご協力いただきましてありがとうございました。「教育に関するアンケート」の回答につきまして、下記の通り報告させていただきます。

令和4年度 松山幼稚園 教育に関するアンケート(学校評価)

A=当てはまる(そう思う)	B=やや当てはまる(どちらかというと思う)
C=あまり当てはまらない(あまりそう思わない)	D=当てはまらない(思わない)

アンケート内容		A	B	C	D
1	お子さんは幼稚園に行くのを楽しみにしている	74	16	1	0
2	お子さんは先生を慕っている	83	8	0	0
3	お子さんは幼稚園で友達との関わりを楽しんでいる	81	8	2	0
4	お子さんは幼稚園の出来事を家で話している	69	21	1	0
5	お子さんは諸行事に喜んで参加している	79	12	0	0
6	お子さんは幼稚園生活で自主性がめばえたと思う	72	18	1	0
7	教師は子ども達の良い所を見つけ伸ばそうとしている	72	18	1	0
8	教師はお子さんの幼稚園生活をよく見ている	76	15	0	0
9	教職員はお子さんの健康や安全確保に努めている	85	6	0	0
10	幼稚園の雰囲気は明るい印象が感じられる	74	16	1	0
11	幼稚園と保護者の連携がとれている	67	23	0	1
12	幼稚園は環境設備に配慮している(園舎、園庭、遊具など)	81	10	0	0
13	幼稚園はおたより、通信などわかりやすく伝えている	69	19	2	1

令和4年度 園独自自分磨きチェック表 (教職員)

松山幼稚園

I 保育の計画性

内 容		評価	評価	評価	評価
1、園の教育理念・教育方針の理解		1	2	3	4
①	園の教育理念や教育方針を理解し共感している	100%	0%	0	0
②	園の方針、園長の考え方について園長や主任と話し合い保護者に説明できる	0	100%	0	0
2、幼稚園教育要領・保育所保育指針の理解					
①	幼稚園教育要領、幼児の姿や環境の構成、保育者とのかかわりなど具体的な事例を思いうかべることができる	0	100%	0	0
3、教育課程の編成と評価					
①	園の教育課程は、幼稚園教育要領・保育所保育指針をふまえ園の教育理念・教育方針に従い編成している	0	100%	0	0
②	1年間の子どもの成長を振り返り、教育課程を評価している	100%	0	0	0
③	園の教育課程は、社会状況や幼児の実態、地域性などを考慮しながら必要に応じて見直しを行っている	0	100%	0	0
4、指導計画の作成					
①	指導計画は、幼児の興味や関心、これまでの生活や予想されるこれからの生活などを考慮し作成している	100%	0	0	0
②	行事は、幼児の生活上の意義を十分検討した上で、指導計画に組み入れている	100%	0	0	0
5、環境の構成					
①	指導計画に基づいて、幼児が主体的にかかわりたくなるような安全で清潔感のある環境構成をしている	100%	0	0	0
②	楽しい雰囲気の中で、安定して遊び込めるように遊具や用具、素材など質・数量を配慮して環境構成をしている	20%	80%	0	0
③	幼児の活動がより豊かになるように幼児の発想を柔軟に取り入れ、活動の展開に応じて環境の再構成をしている	100%	0	0	0
④	幼児の発達や生活を見通し、季節の変化に応じた環境構成をしている	100%	0	0	0
⑤	異年齢の幼児が自然に交流できるような環境構成をしている	100%	0	0	0
6、保育と計画の評価・反省					
①	自分の保育と評価・反省について次の保育と計画に生かせるように行っている	0	100%	0	0
②	お互いに保育を見せ合い、検討し、評価・反省を加え、幼児の生活と自らの保育につなげている	0	100%	0	0

Ⅱ 保育の在り方、幼児への対応

内 容		評価	評価	評価	評価
1、健康と安全への配慮		1	2	3	4
①	朝の登園時は特に視診を大切にして幼児の体調が悪くないかを確認している	100%	0	0	0
②	体調が悪そうな時は静かに寝かせたり検温をするなど適切な処置を行いすぐに家庭へ連絡している	100%	0	0	0
2、幼児のみとりと理解					
①	幼児の話をよく聞いたり、言葉にならない思いやサイン、その姿の中にある心の動きを推察し、基本的欲求が十分満たされる様配慮している	0	100%	0	0
②	一人の幼児をじっくりと見ながら見えない所で活動したり遊んでいる幼児についても、ある程度その活動の様子を推察することができる	0	100%	0	0
③	個々の幼児の発達の姿や課題について見通しをもって理解できる	0	100%	0	0
3、指導とかかわり					
〔心のよりどころとして〕					
①	幼児一人ひとりを観察し、ありのままの姿を受入れ認めるようにしている	0	100%	0	0
②	幼児との温かなやりとりやスキンシップを常に心掛けている	100%	0	0	0
③	幼児の話をよく聞くようにしている	100%	0	0	0
④	“一人ひとり”と“みんな”の関係を常に考え、クラス集団をまとめている	100%	0	0	0
〔遊び・活動の援助者として〕					
①	幼児が遊びや活動を深めていくためのヒントやアイディアを提供している	40%	60%	0	0
②	幼児をほめたり、励ましたり、めあてをもたせるような言葉かけをしている	100%	0	0	0
③	禁止、命令、行動を急がせたり、自信を失わせることばや態度はできるだけ控えている	0	100%	0	0
〔その他〕					
①	幼児の家庭環境や、これまでの成育歴などを考慮してかかわっている	0	100%	0	0
②	障がい児が入園した時、個別的対応やクラスの子どもとともに育ち合える保育を積極的に進めるように考えている	0	100%	0	0
4、保育者同士の協力・連携					
①	クラスに関係なく、その場にいた保育者が適切な言葉かけや対応をしている。また、情報を共有している	100%	0	0	0
②	指導上配慮を必要とする幼児については、園の保育者全体で特によく話し合い、共通理解をもって、工夫し対応するようにしている	100%	0	0	0
③	他クラスや異年齢の幼児たちと触れ合うようさまざまな工夫、保育の形態を取り入れている	100%	0	0	0

Ⅲ 保育者としての資質や能力・良識・適性(保育者：幼稚園教諭と保育士の総称)

内 容		評価	評価	評価	評価
1、専門家としての能力・良識・義務		1	2	3	4
[専門家としての能力]					
①	保育にたずさわる者として、専門知識や技能を身につけている	0	100%	0	0
②	保護者に対し、幼児のことや自分の保育のことを分かりやすく話すことができ、保護者との信頼関係をつくることに努めている	0	100%	0	0
③	保育者並びに他職員が仕事の手順を考え、能率よく行っている	0	100%	0	0
④	保育者の人間性が子ども達に影響を与えることを自覚している	100%	0	0	0
[良識とマナー]					
①	幼児や保護者との対応には、公平さを欠かないようにしている	100%	0	0	0
②	朝と帰りのあいさつは明るく親しみを込めて行い、感謝の気持ちを言葉などで表わしている	100%	0	0	0
③	園の消耗品や教材は節約して使い、私用に使っていない	100%	0	0	0
④	服装、髪型、身だしなみなど、清潔感のあるものを心がけ、安全性にも気をつけている	100%	0	0	0
[義務]					
①	教材、教具の管理、点検、園内外の清掃や整理整頓を実行している	0	100%	0	0
②	締切りのある仕事や提出物の締切日、会議や打ち合わせの時間をきちんと守っている	0	100%	0	0
2、組織の一員としての在り方					
①	他の意見を素直な気持ちで聞いたり、自分の意見を述べることができる	80%	20%	0	0
②	子どものこと、クラスの出来事などで必要なことは園長や主任に報告、連絡、相談している	100%	0	0	0
③	当番や役割による仕事を理解し確実にやっている	0	100%	0	0
④	上司の指示、命令には責任を持って実行している	0	100%	0	0
3、まわりを感じ取れる感性・アンテナ					
①	幼児や教育・保育に関する情報を日頃から得ようとしている	100%	0	0	0
②	社会情勢や季節の変化などを感じ取る感受性を大切にしている	100%	0	0	0

IV 保護者への対応・守秘義務

内 容		評価	評価	評価	評価
1、情報の発信と受信		1	2	3	4
①	一人ひとりの子どもについて、家庭での養育方針などを把握している	0	100%	0	0
②	クラスだよりなどで、保育実践の内容や意図・クラスや子どもの様子を、写真やイラストなどを活用してわかりやすく伝える工夫をしている	0	100%	0	0
③	個々の子どもの様子は、直接保護者と話をしたり、連絡帳、電話などを使って伝え合い共通理解を得るように努めている	0	100%	0	0
④	保育参観や保護者面談を定期的に行い、子どもについて、保育や家庭でのあり方について共通理解を得るように努めている	0	100%	0	0
⑤	定期的にアンケート等にて保護者の要望を聞き、子どもにとってよりよい環境づくりに努めている	0	0	100%	0
⑥	保護者との情報交換の内容を、必要に応じて記録している	80%	20%	0	0
⑦	子育てや就労を支えるために、保護者の気持ちに配慮しながら接するよう努めている	100%	0	0	0
2、協力と支援					
①	保護者からのさまざまな訴え、要望、意見については安易に受けたり、断ったり無視したりしないで、園長や主任等に報告や相談をしている	100%	0	0	0
②	必要な場合は、自園の苦情解決システムについて保護者に説明できる	0	0	100%	0
3、守秘義務の遵守					
①	教職員や園の批判を軽はずみにしたり、プライバシーについて他へ漏らしていない	100%	0	0	0
②	秘密情報（保護者・園児等に関する個人情報、および園の運営上の情報、保育技術・保育計画等の情報）については園長の許可なく使用、開示、漏洩していない	0	100%	0	0
③	秘密情報の記録が破損、改造されないように管理している	0	100%	0	0
④	秘密情報の帰属は園または法人にある事を認識し、書類、電子データは持ち帰らないようにし、どうしても必要な場合は持ち出し届出許可書にて園長の許可を取っている	0	100%	0	0
⑤	秘密情報の書類、電子データのコピーは施設長の承認を受けた物のみ、必要最小限にし、必要がなくなった場合は適切に処分している	100%	0	0	0
⑥	秘密情報について新たに知りえたことについては、直ちに園長に報告している	100%	0	0	0
4、対応上のマナー・良識					
①	正しい日本語、丁寧な言葉と敬語を用いて話しかけ、相手の話も落ち着いてしっかりと聞いている	0	100%	0	0
②	親しくなったからといっても、友達同士のような話し方をしていない	0	100%	0	0
③	電話では、簡潔に要領よく対話する事を心がけている	0	100%	0	0
④	保護者からの依頼や伝言等については、メモをするなどきちんと対応している	100%	0	0	0
⑤	長期の欠席や入院等の場合には、見舞ったり、園やクラスの様子を伝えたりしている	0	100%	0	0
⑥	保護者の国籍、思想、宗教により、また、子どもの性差、障害、個性差によって、区別、差別していない	100%	0	0	0
5、クレームへの対処の仕方					
①	保護者からクレームがあった場合は、まず謙虚にその話を聞き、園長に連絡、報告、相談している	80%	20%	0	0

V 地域の自然や社会とのかかわり

内 容		評価	評価	評価	評価
1、地域の自然・人々とのかかわり		1	2	3	4
①	地域の人々と親しくあいさつや会話を交わしている	0	100%	0	0
②	地域の自然や機関を指導計画の中で位置づけて活用している	80%	20%	0	0
③	子どもの医療や保健に関する問題および地域の住民から受けた子育て相談の内容について、相談および連絡先を把握している	0	100%	0	0
④	実習生を受け入れるときは、意義や方針を理解し、指導的立場で接している	100%	0	0	0
2、小学校との連携					
①	園の保育内容が小学校以降の生活や学習の基盤の育成につながることを理解している	100%	0	0	0
②	小学校の教育内容について理解するよう努めている	0	100%	0	0
③	小学校が、園での子どもの育ち等について、どのような情報を必要としているか理解するよう努めている	0	100%	0	0
3、地域の特性を生かした保育の展開					
①	スキー教室・畑で収穫をした野菜で料理教室など、地域の気候を生かした保育を実践している	0	100%	0	0

VI
 保育者の専門性に関する研修・研究への意欲・態度

内 容		評価	評価	評価	評価
1、研修・研究への意欲・態度		1	2	3	4
①	研修会や研究会には自己課題をもって参加し、事前にその内容を確認したり自分なりの考えをまとめている	0	100%	0	0
②	自分の保育については自己課題をもって計画と反省を行うとともに、保育のあり方や悩みについて他保育者や主任、園長と話し合っている	0	100%	0	0
2、遊具・教材に関する専門性の向上					
①	園の遊具や教材についてその特徴や基本的な使い方を知っている	0	100%	0	0
②	園の遊具や教材についてどんな使い方をするのか、どのような使い方が危険か予測できる	20%	80%	0	0
3、園内の環境に関する専門性の向上					
①	園舎の構造（平屋、二階建て）や保育室・遊戯室の位置・大きさがどのような教育的な意味をもつか理解している	0	0	100%	0
②	園庭や田畑、砂場、かくれ場所などの位置、広さなどがどのような教育的な意味をもつか理解し、保育に生かしている	0	0	100%	0
4、今日的課題に関する専門性の向上					
①	子どもを取り巻くさまざまな状況について、背景・原因・実態はどうであるか興味・関心をもっている	100%	0	0	0
②	アレルギー・自立の遅れなど、最近多く見られる問題について興味・関心をもっている	100%	0	0	0
③	幼小連携の意義やあり方について興味・関心をもっている	100%	0	0	0
④	こどもたちの安心・安全に関する危機管理について興味・関心をもっている	100%	0	0	0
5、自らを高めるための学習					
①	保育の専門知識や技能のほかに趣味や読書、ボランティア活動等にも関心がある	100%	0	0	0

VIII
 地域における子育て支援

内 容		評価	評価	評価	評価
1、自園の子育て支援事業の理解（全教職員）		1	2	3	4
①	地域開放(親子保育園体験日・行事など) について職員間で共通理解の上取り組んでいる	0	100%	0	0
②	自園の子育て支援事業について理解し、利用者にパンフレットやおたよりでわかりやすく説明できる	0	100%	0	0
③	親しみやすい雰囲気心を心がけ、利用者に積極的に声をかけている	100%	0	0	0

自己点検(教職員編)分析表

令和4年3月6日実施分

松山幼稚園

カテゴリー名	達成度
I 保育の計画性	100%
II 保育の在り方	100%
III 保育者としての資質や能力・良識・適正	100%
IV 保育者への対応・守秘義務	91%
V 地域の自然や社会との関わり	100%
VI 研修と研究への意欲・態度	82%

